

学校心理学研究の投稿原稿作成のためのチェックリスト

学校心理学研究では、多くの会員の皆様の論文の投稿を期待しております。そして、投稿された論文の査読のために、多くの人手と時間を割いております。

一方、スムーズに論文の査読を進めるためには、編集規程や執筆要項を正確に守っていただくことが必要となります。煩雑な作業かもしれませんが、編集規程や執筆要項をよくお読みいただいたうえ、以下のチェックリストをご活用いただき、投稿論文を作成いただくようお願い申し上げます。

1. 原稿の体裁

- 原稿は A4 サイズとする。
- 本文は 24 字×42 行 1 段組（刷り上がり 2 段組の 1 段と同様）とする。
- 本文は左右に余白を 5.5 cm 以上とり印刷する。
- 本文にはページ番号をつける。
- 原稿は審査に使用するため、無記名とする。
- 刷り上がりの分量が 12 ページに収まるようにする。

題目、日本語要約、英文要約など本文以外の部分で刷り上がり約 1 頁を費やすこと、及び、図表等は圧縮することを考慮して分量を調節すること。

2. 日本語要約、英文要約

- 改段落せずに 1 段落で書く。
- 図表は引用しない。
- 英文要約は採択が内定段階で提出することも可とする。
- 英文要約を提出する際は英語熟達者のチェックを受ける。

3. 本文

- 略語は初出時にフルスペルを表記し、略語はその後の（ ）内に記載する。
- 同意語や類似概念の混在を避け、名称や用語を統一する。
- 図表は引用順に番号を振る。
- 見出しの番号が前後していないかを点検する。
- 本文中の章、節、項には、それぞれ I・II・III…、1・2・3…、(1)・(2)・(3)…、の番号で表記する。
- 箇条書きの番号は①・②・③…とする。
- 文献の引用に際しては、著者名は以下の要領で記す。

2 名の共著の場合：(日本人) 石隈・小野瀬, 1997 (外国人) Thomas & Grimes, 1990

3 名以上の共著の場合（初出時は著者全員の名前を記す）

初出：(日本人) 石隈・永松・今田, 1999

(外国人) Reynolds, Gutkin, Eliot & Witt, 1984

2 回目以降（日本人）石隈ら, 1999（外国人）Reynolds et al., 1984

4. 引用文献リスト

- 引用したすべての文献をリストアップする。
- 本文で引用していない文献はリストに入れない。
- 文献リストと本文の引用に、綴りや年号の不一致がないか照合する。

- リストの順序は、著者の姓のアルファベット順、同一著者については年代順とする。
- 著者名が複数の場合は、全著者名を記載する。
- 日本人著者名は、姓名ともに記載する
- 外国人著者名は、姓、first および middle name のイニシャルの順で記載する。
- 著者が複数の場合は、各著者名の間に和文では「・」をいれる。
例：石隈利紀・永松裕希・今田里佳
- 著者が複数の場合、英文では「,」を入れ、最後の著者名の前に「&」を入れる。
例：Reynolds, C. R., Gutkin, T. B., Eliot, S. N., & Witt, J. C.
- 翻訳書を使用した場合は原書について記載し、用いた翻訳書の訳者、刊行年、書名、発行所をその後ろに（ ）として記載する。
例：Caplan, G. 1964 Principles of Preventive Psychiatry. New York:Basic Books (新福尚武監 1970 予防精神医学 朝倉書店)
- 同一著者名や同一雑誌名が連続して記載される場合も“同上”“ibid.”は用いない。
- 海外の書籍については出版地を記載する。
- 雑誌省略名は用いない。
- 1巻に数号発行される雑誌の場合には、巻の通しページを記載する。
- 巻の通しページを採用していない雑誌については、巻数の後の（ ）内に号数を併記する。
例：6(2), 36-45.
- 巻数をもたない雑誌（大学の紀要や商業雑誌など）については、第18集, 21-30. あるいは第8号, 72-83. のように記載する。

5. 図表

- 原則として日本語で作成する。
- 表の題名は、表1, 表2…として表の上部に書く。
- 図の題名は、図1, 図2…として図の下部に書く。

6. その他

- 誤字脱字、ワープロの変換ミス、表の数値の間違いなどがなければ最終点検する。
- ファイルをPDFファイルに変換し、電子投稿を行う。